

次号予告

- 特集 職業的リハビリテーション
- 職業的リハビリテーションの概念と体系... 日本女子大 小島 蓉子
 両上肢切断者の職業復帰まで..... 都心障センター 古川 宏
 両下肢切断者の職業復帰.....兵庫リハセンター 三橋 保雄
 脳性麻痺の職業的リハビリテーション
 と作業療法.....中伊豆リハセンター 田中 堅
 座談会／不況下における身障雇用への方向性
神奈川リハセンター 佐藤 馨・他
 〈随想〉ともしび運動..... 神奈川県庁 芝 敬一
 国立職業リハセンターの構想...国立身障センター 橋倉 一裕
 福祉工場・授産施設
 の当面の課題..... アガベ身障作業センター 松井 亮輔
 学会印象記 第10回日本作業療法士協会学会
リハ学院 矢谷 令子・他

編集後記

ちかごろ乗物に乗ると、シルバーシートというものにお目にかかる。これは、“お年寄りや身体の不自由な方のための優先席”であるが、乗ってみて判ることだが、そこに坐っている人はというと、大抵若くて、身体のどこにも不自由なところなどみえない方々である。そんなところへお年寄りや身体の不自由な方が乗り込んできても、ドッカと坐っている彼らをみては、どかして坐れる程の勇気も湧いてこない。また、そばでそんな場面を目撃している健康な人々も、声もかけられず見てみぬ振りである。

一方、シルバーシートに優先的に坐れる権利のある者からこのシートをみてみると、あまり有難い指定席ではないのではなにかと思う。というのは、そこへ坐るということは、自ずからを“お年寄”であるとか、“身体の不自由な方”と認めなければならないことになるからである。要はこの

ようなシルバーシートを設け、世の人々に訴えなければならない我々日本人の道徳心の浅さに問題があるとみななければならないと思う。そんなシートがなくても、そういう方をみかけたら、サッと席をゆずる精神（「勇気」の方が正しいかな？）がなければならぬのだ。これを設けた当局の方々は、こんな議論を十分経た上で「やはり設けた方がよい」ということなのであろうが、シルバーシートがあってもそれが十分に活用され得ない実情は悲しいことと云わなければならない。

さて、本号は難病の特集を組んでみた。この他にも難病と定められている疾患はまだ沢山あるが、今回は特に PT・OT にとっても遭遇する機会のあるものを選び、疾患そのものの解説とその患者を扱う上での注意事項について、詳しくお書きいただいている。

猛暑はまだ続きそうです。読者諸氏のご健康を祈ります。（編集室）

＜編集顧問＞

天 児 民 和
九州労災病院長
五味 重 春
府中リハビリ学院長
砂 原 茂 一
国立療養所東京病院長
津 山 直 一
東京大学教授・整形外科
水 野 祥太郎
川崎医科大学学長
(五十音順、以下同じ)

＜編集委員＞

上 田 敏
東大リハビリ部
荻 島 秀 男
都養育院リハビリ部
佐 藤 馨
神奈川リハセンター
鈴 木 明 子
府中リハビリ学院
谷 岡 淳
自治医科大学
田 村 美枝子
清瀬リハビリ学院
寺 山 久美子
都心障センター
松 村 秩
都養育院リハビリ部

＜編集同人＞

明 石 謙
大 井 淑 雄
大 川 嗣 雄
大 橋 博
鎌 倉 矩 子
紀 伊 克 昌
小 林 夏 子
駒 沢 治 夫
佐 藤 剛
田 原 澄 彦
富 岡 詔 子
奈 良 勲
藤 沢 しげ子
藤 本 欽 也
前 田 守
松 本 妙 子
矢 谷 令 子
山 下 隆 昭
横 山 巖
和 才 嘉 昭
(担当 細田・松橋)